

# 一人一人に合った学びを実現する GIGAスクール構想



## 実証実験を実施

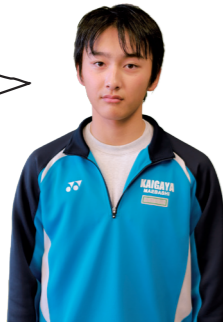
本市では、昨年6月10日から8月31日までGIGAスクール構想での一人一台端末の整備に先駆けて、市立中学校の3年生を対象に、ICTを活用したオンライン教材による学習支援の有効性を検証する実証実験を実施しました。実証実験の結果は今後のGIGAスクール構想に生かしていきます。

## モデル校で試験運用を開始

本格運用に向けて、1月に桃瀬小と桂萱中にタブレット端末を先行導入。試験運用を開始しました。

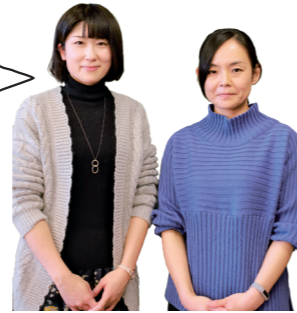


学校で勉強した事を帰ってから復習する時に、端末に先生が言っていたポイントなどを書いておくことで復習しやすくなりました。また、ムーブノートというアプリで先生からの課題に対してクラス全員が意見を出し合い、いろいろな意見を見る事ができずごくたためになります。



桂萱中2年  
西村 宗徳さん

書くことが苦手な生徒でも、端末を使ってゲーム感覚でやってみようという生徒が多くなり、子どもたちの勉強に対する意欲が上がっていると感じています。また、インターネットで調べて文章を書いて、図や写真などを取り込み、発表するといったような一連の学習もできます。



桂萱中教師  
塩野 帆生さん(左)  
猪岡 綾子さん(右)

## 期待される効果

- 学校の外や家庭などでも、物事を調べたり記録したりすることが可能に。
- ドリル学習アプリの活用で、個別の学習が充実。
- 端末を通じた意見交流でいろいろな考えに触れたり、新たな考えを見出したりすることで学習が充実。
- 教師が児童生徒一人一人の考えや取り組みを端末上に集約して把握できることで、個別の支援が充実。
- 紙で配布していた学習プリントや学校通信などを簡単に配布、回収できるようになることで、教師の仕事の効率化が図られ、児童生徒と向き合う時間が増える。

## ● 本年度中に端末を配布

本年度中に市立小学校・中学校・特別支援学校と市立前橋高の全児童生徒を対象に一人一台の端末を貸与。各学校へは順次配布します。

## GIGAスクール構想とは

児童生徒への一人一台の端末と高速大容量の通信ネットワークの整備を一体的に進める国の政策です。これによって、子どもたちの情報活用能力をさらに伸ばし、一人一人に合った学びの実現を目指します。また、一人一台の端末を整備することで、災害や感染症発生などによる学校の臨時休業の緊急時でも、子どもたちの学びを止めない環境が整います。

## 新たな価値を創り出す学び

本市が導入する端末は、通信方式にLTE（携帯電話回線）を採用。学校や家庭などのさまざまな場面で、ルールを守りながらICTを活用した新たな学びに取り組むことで、自らの可能性を広げ、新たな価値を創り出す学びの充実につなげます。

〒027-8998 6245  
教育委員会事務局総務課

## Interview

授業中、その子のペースで学習を進められ、教師は全ての児童の進捗を画面で確認できるため、誰一人取りこぼすことなく個々の成長を促せます。児童のミスから原因を分析し、その子に合った課題を課すことも可能になります。

また、アプリを活用することで、作曲やプログラミングなど、今まで気が付かなかった新たな才能を知ること。子どもの可能性がどんどん広がります。

教師も、学校での児童の日常を家庭に共有しやすくなりました。学校と家庭の距離が近づくきっかけにもなるとうれしいです。



桃瀬小校長 折田 一人さん